

令和7年度 第8回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年11月26日（水）9時

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・当村の脱炭素先行地域づくり事業は順調に進んでおり、先週は（株）いくさかてらすが特定送配電事業者として資源エネルギー庁へ登録された。務台アドバイザーや（株）エコロミなど皆様から協議を進める上でお力添えをいただきながら、順調に推移をしているところである。
- ・また、東京電力 RP から北陸地方整備局の方へ申請をしている小水力事業の関係も、北陸地方整備局長と河川部長に直接お会いをして、3月までには必ず許可を下ろしていただきたい旨を直接お願ひしてきたところである。
- ・多くの皆様にそれぞれの立場で、この事業を進めていく上でのお力添えをいただきしております、日本の中でも順調にいっている地域ではないかと自負している。今日も色々な案件について、皆様方から忌憚のないご意見をいただき、この事業をしっかりと進めていきたいと思っている。

【協議事項】

○小水力発電事業の工事計画について

- ・小水力発電所建設工事で取水口部、水圧管路、発電所建屋周辺付帯工、放水路、道路工、構造物撤去取壊工、仮設工、発電所建屋、準備工、電気・機械工の工程について説明。
- ・北陸地方整備局および東京電力との協議や調整が順調かどうか常時検証して、情報を共有するように、また来月に東京電力が年末の挨拶に来られた時に伝える要望等があれば事前に報告するよう意見があった。
- ・現在の調整状況について質問があり、9月末に県から指摘事項を受領し、現在図面を修正しているところで、指摘内容は図面上の比較的簡易な修正と、東京電力との許認可に関する事項であり、大きな問題はないと説明。

○上生坂マイクログリッド工事について

- ・現在の各管路埋設・ハンドホール設置状況、大型蓄電池の設置状況について

説明。

- ・特定送配電事業に関する状況確認として、(株) いくさてらすが特定送配電事業者として登録された後、3月までに必要な許可がどのようなものか質問があり、現在受理されているのは、マイクログリッドの送電線を使って事業を行うことに対する許可（届出の受理）で、これとは別に、電気を販売するための登録（登録特定送配電事業）が必要と説明。
- ・県道の工事で片側交互通行時の待ち時間が2分以上と長い箇所があり、朝の村営バスが電車に間に合わないことが懸念される。交通整理員（ガードマン）が1人のみで適切に交通整理できているか不透明なので、待ち時間を短くするなど改善して欲しいという意見があった。
- ・工事の工程表を示して欲しいという意見があった。

○広報計画について

- ・広報誌「龍と子」の発行、ホームページによるPR、SNS（X、Instagram）によるPR、ポスター、広報パネル等の掲示（脱炭素事業全体の紹介）、ポスター掲示（EVバスの周知PR、蓄電池等によるレジリエンス強化のPR、V2Hの紹介）、普及啓発（木質バイオマスストーブの紹介）、村関係イベントにおけるチラシ配布の実施について、その主なターゲット、実施時期、目的、現状と課題について説明。
- ・長野県内で脱炭素先行地域事業を実施する市町村と連携し、県関係者も交えた持ち回り型シンポジウムを行うはどうか。また、各地の「環境フェア」へ出向き、ブース出展・展示を行う施策も有効ではないかという意見があった。
- ・バス車内だけでなく、バス停にもEVバスのポスターを設置してPRすればどうかという意見があった。
- ・来年度のPPA事業の契約件数を伸ばすために、PR活動の強化が必要であり、電気料金の削減事例などを随時発信するよう意見があった。
- ・PPA事業と並行して、木質バイオマスストーブの導入もさらに進める必要があるという意見があった。

○地区集会所等への省エネ機器導入について

- ・各区の公民館等への省エネ機器導入に係る、エアコン設置見積もりの依頼内容、地区負担の内容について説明。

○その他

- ・昭津地区への太陽光パネル、蓄電池、暗渠工、フェンス工事、電気工事の設置工程、設置工事状況、架台の構造等について説明。
- ・龍と子 Vol. 23 の内容について説明。
- ・松本山雅より補足として、赤とんぼフェスティバルでのアンケート結果は、有効回答数 234 件、回答者の内訳は村内が約 1/4、村外が約 3/4 であり、今後はターゲット層へのメッセージ送付がより有効と考えられるという意見があった。

【意見・質問】

- ・高齢者世帯、住宅の耐震等の状況により太陽光パネルを設置できない家庭がある。民生部門で 2030 年までに CO₂ 排出実質ゼロを達成する目標があり、達成にはシンプルプランの契約数増加も必要で、それに伴い必要なオフサイト太陽光発電設備の設置規模を算出するシミュレーションを次回のプロジェクト会議までに行い、不足する電力への対応と設置個所の選定も行うよう意見があった。